

## 第4学年〇組 総合的な学習の時間指導案

福岡市立 〇〇小学校  
教諭 〇〇 〇〇

1 主題名 インターネットを安全に使うために

2 資料名 インターネット事件簿（ニフティ株式会社 支援カリキュラムより）

3 ねらい

- インターネット体験ドリルを通して、個人情報を送る危険や、振り込め詐欺等の事件が起こっている事実を知り、携帯電話を安全に活用する知識、態度を育てる。

4 本主題を進めるにあたって

### ○ 主題について

本主題は、携帯メールに潜む危険性について正しい知識を得て、危険を回避する方法を知り、携帯電話を安全に活用できるようになることをねらいとしている。

携帯電話は手軽で便利であり、世界中の人々とのつながりができる現代では欠かせないコミュニケーションアイテムである。しかし、様々な機能があり、使用する目的もそれぞれであることから、正しい情報、役に立つ情報ばかりではなく、誹謗中傷の道具になったり、犯罪に使われたりしているのが現実である。

子どもたちは、生活経験から携帯電話やインターネットに対する知識が十分でなく、興味本位で使用している傾向がある。そのため、知らない人からの電話に対して友達の個人情報を教えてしまったり、振り込め詐欺や誘拐に発展しかねない事件も起きていたりしている。このような現状をふまえて、携帯電話に潜む危険を回避し、安全に活用するための知識を身につけ、行動しようとする態度を育てることは、情報化社会に生きる子どもたちを指導していく上で、たいへん重要で意義深いと考える。

### ○ 子どもの実態

本学級の子どもたちは、これまでにICTを使って学習を進めたり、自分が調べたい情報を集めたりする経験をしている。また、活用する際の基本的なマナーも理解できている。校内でインターネットを活用する際には、担当教師の指導のもと、学習内容から逸脱するような情報を集めたり、有害サイトへアクセスしたりすることはない。

自分用の携帯電話を所持している子どもは31%、携帯や家庭のPCでメールをしたことがある29%で、そのほとんどが家族との連絡用である。

インターネットに接続したことがある子どもは69%で、メールや情報収集以外で家庭のPCを使うのは、「ゲーム」が46%と圧倒的に多く、写真の整理、オークション（家族で）が3%となっている。家庭でも気軽に情報を得られる環境にあると同時に、危険にさらされる可能性もあることがわかった。また、インターネットを活用する際の家庭での約束、制限があまり設けられていないこともわかった。

## ○ 資料活用と情報モラル教育の視点から

本主題で取り扱っている資料『インターネット事件簿』は、携帯電話に「アンケートに答えるとおこづかいがもらえる。」といったメールが届き、アクセスして入力すると「大当たり」と表示されるようになっている。すぐに住所等を登録しないと、おこづかいがもらえなくなると囃し立てられ登録してしまうと、数日後に多額な請求書が送られて来るといった疑似体験をするものである。

子どもの興味・関心をひく内容であること、疑似体験や復習ドリルを通して学習できることから、携帯やインターネットに潜む危険を知り、回避する方法を確認できるよさがある。

### 5 本時指導の考え方

本時指導にあたっては、疑似体験を通してインターネットに潜む危険を知り、その回避方法を理解することをねらいとしている。

導入の場面では、インターネットを安全に使うために知っていることを聞き出し、学習のめあてを確認する。

展開の場面では、コンテンツの体験モードで疑似体験をさせ、どこがいけなかったのかを考えさせる。プリントに記録したり復習ドリルをしたりして、自分の行動が正しかったのかどうかを確認する。

まとめの場面では、体験したことをふりかえりながら、インターネットを活用する際にしてはいけないことを確認し、学習のまとめをする。

最後に、家庭用のプリントを配布して、学校で学習したことを家族とともに話すことで、家庭での携帯電話やインターネットの使い方について約束を設定するなどの機会を設けられるようにして、保護者に対する啓発活動につなげていきたい。

### 6 準備 インターネット事件簿デジタルコンテンツ，学習プリント，資料

### 7 本時 平成21年10月19日（月）5校時 パソコン教室

### 8 本時の展開

	学 習 活 動	指導上の留意点
導入 7 分	1 携帯電話を安全に使うために、知っていることを確認する。 ・ 知っていることや気をつけていることを発表する。 めあて 携帯電話を安全に使うには、どうしたらいいか考えよう。	○ 子どもたちから知っていることが出てこない場合は、資料「インターネットを安全に使うために」を使って、知っておくことを確認する。

<p>展開</p> <p>25分</p>	<p>2 デジタルコンテンツを使い、疑似体験をおこなう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 操作方法を聞く。</li> <li>・ 疑似体験をおこなう。</li> </ul> <p>Vol.2「アンケートでおこづかいが当たる」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①体験モードで危険を体験する。</li> <li>②何がいけなかったのかを考え、学習プリントに記録する。</li> <li>③まとめドリルでふりかえる。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童用PC画面に、教師用画面を送信して操作方法を指導する。</li> <li>○ 学習プリントを配布する。</li> <li>○ 体験中にメモをとるなどして、大切なことを意識できるよう促す。</li> <li>○ 教師用PCで児童の体験状況を確認したり、机間巡視をしたりして操作につまずいている子どもの支援をする。</li> <li>○ 体験モード終了後、全体で交流することで、危険な行動を共有できるようにする。</li> </ul>
<p>まとめ</p> <p>10分</p>	<p>3 学習をふりかえり、まとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 携帯電話を安全に活用するには、どんなことに気をつけたらいいのかを話し合う。</li> </ul> <p>—まとめ—</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① インターネットにある情報は、すべて正しく安全であるとは限らないので、変だなと感じたら、すぐに閉じること。</li> <li>② 自分以外の人個人情報（顔写真、名前、住所など）は、知らない人はもちろん、知っている人にも勝手に教えてはいけないこと。</li> <li>③ 困ったことがあったら、すぐに家の人や先生に相談しよう。</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体験してみて考えたこと、これから注意したいことを発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ インターネットの危険は、ネット上だけのことではなく、実生活に影響が及ぶことを知らせる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ インターネットの向こう側には、必ず人がいること、そして中には、危険なことに自分を引きずり込もうとしている人もいるということを知らせる。</li> <li>○ 家庭用配付資料は、家で家族とゆっくりと話し合えるように促す。</li> </ul>

〈板書計画〉

<p>めあて</p> <p>携帯電話を安全に使うには、 どうしたらいいか考えよう。</p> <p><u>安全に使うために知っていること</u></p>	<p>まとめ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① インターネットにある情報は、すべて正しく安全であるとは限らないので、変だなと感じたら、すぐに閉じること。</li> <li>② 自分以外の人個人情報（顔写真、名前、住所など）は、知らない人はもちろん、知っている人にも勝手に教えてはいけないこと。</li> <li>③ 困ったことがあったら、すぐに家の人や先生に相談しよう。</li> </ol>
---	--

〇〇小4年 そろごう学習

月 日 ( )

「インターネットを安全に使うために」名前 《 》

学習のめあて

何がいけなかったのでしょうか？

まとめ

今日の学習で